

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 2 9 日 更 新

事務事業名		消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康					所属部	総務部	課長名	田代 純児	
	施 策	15	防災対策の推進					所属課	安全安心課	担当者名	宮尾 和樹	
	施策の柱	49	災害応急対策					所属班	防災対策班	(内線)	1242	
予算科目		会計一般	款 9	項 1	目 2	事業連番 10023	根拠法令	消防組織法				
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・消防団の活動を支援するため、各班毎に消防積載車44台、小型動力ポンプ47台を配備している。これらの配備車両及び機械器具を円滑に維持管理するための事業である。
【業務の流れ】	・車検表および定期点検表の作成、周知、検査の実施、支払い。 ・消防団員に対する月2回の点検の実施徹底、故障の早期発見、修繕、支払。
【主な予算費目】	・需用費（修繕費） 役務費 公課費
【意見や要望】	・消防団員の在籍年数の長期化および団員の高齢化、新入団員の減少等、消防団を取り巻く環境が厳しくなっており、現在、消防団の再編を検討中であるため、再編計画に合わせた既存資機材の改修および購入計画の立案を行う必要性がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
消防団積載車の車検定期点検及び小型ポンプ故障等の修繕を行ない、適切な機械器具の維持管理に努め、有事に備えた。積載車2台、小型ポンプ2台の更新を行った。		令和6年度から10009消防施設維持管理事業に統合することによる事業廃止	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 車検実施台数	台	令和6年度から10009消防施設維持管理事業に統合することによる減	
→ イ: 修繕台数	台		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・消防車両、小型ポンプ		→ ア: 消防車両	台
		→ イ: 小型ポンプ	台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・災害時等の緊急に即対応できる状態を保つ。		→ ア: 修理が必要となった車両数	台
		→ イ: 修理が必要となったポンプ台数	台
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・修理が必要となる積載車等を限りなく少なくするため、消防団と連携し維持管理を行う。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	台	22	23	22	0	0	0	0	0
	イ	台	16	17	0	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア	台	45	45	45	0	0	0	0	0
	イ	台	46	46	46	0	0	0	0	0
③ 成果指標	ア	台	10	9	0	0	0	0	0	0
	イ	台	6	8	0	0	0	0	0	0
投資 入費 量	事業 費 内 訳	財源	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	1,500		13,200				
		その他	千円			12				
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	3,973	16,097	4,687	16,767			
	(A) 事業費計	千円	5,473	16,097	17,887	16,779	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	1	4	2	0	0	0
		延べ業務時間	時間	220	20	180	220	0	0	0
		(B)人件費計	千円	860	76	717	801	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	6,333	16,173	18,604	17,580	0	0	0

事務事業名	消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 小型動力ポンプ2台を購入した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 各班長、機械員と連携し機械器具の点検を行っていく。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 定期的な点検と適切な維持管理行い、正しい操作方法の習得等を行うことで、車両、ポンプの故障を減らすことができるので、向上の余地がある。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 消防活動に係る水利、備品等管理を一括して行う。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 支出は、修繕費と車検代であり、万全の備えを整えるために必要であり、削減できない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 修理・車検のための消防団や業者との調整や支払い事務であり、修理の件数が減少すれば、その分の事務は軽減される。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 消防団の全分団に配備されている積載車、ポンプの維持管理のための費用であり、公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市が設置している消防団の資材の維持管理をするのは適正である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

各班長、機械員と連携し更なる機械器具の点検を行っていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										